

上海「ミニ」通信

(北九州市 上海事務所から中国・上海の「今」をお伝えします！)

前回本稿でご紹介した通り、「高倉健」は中国の歴史の記憶とともに、根強い人気があることが分かったので、それが実際どれほどの影響力を持っているのか検証するため、11月27日から2月3日までの1週間を「高倉健展 PR 強化週間」として、本市フィルムコミッション作成の中国語版のポスター、チラシを活用して、特別展の PR とその開催地である「北九州市」の宣伝活動を行ってみました。

今回はその取組と成果のご紹介と、それを通じて、今後の観光 PR のあり方や上海事務所のミッションなども改めて確認できたので、その内容をレポートします。

平成 28 年 12 月 21 日

【第9回】(検証) 上海事務所「追悼特別展「高倉健」PR 強化週間」の取組について

【今日のポイント】

◆ 11 月末から 12 月初にかけて 1 週間集中的に、5 つのイベント、旅行社への営業など「高倉健展」と本市の PR をやってみました。

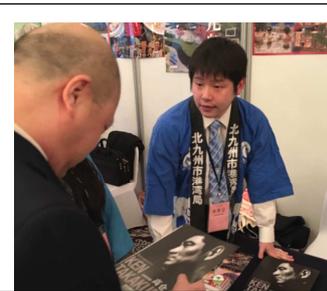
⇒ 【成果】 追悼特別展をメインにした旅行商品の造成に成功！ 現在、上海周辺の 3 社、113 店舗で絶賛発売中！！

◆ 今後本市への観光客を増やすには、大分県、宮崎県の「東九州連合」が有効。両県とも上海事務所があるので、両事務所と連携した営業活動ができるようにしていくのが、今後の我々の事務所の今後のミッション。

1 上海事務所が期間中に取組んだ内容

【PR 強化週間の主な活動】

- (1) 11 月 27 日 日本政府観光局 (JNTO) 主催イベント (@ 武漢市) への参加
- (2) 11 月 28 日 九州観光推進機構、JR 九州と共同で商談会 (@ 武漢市) への参加
- (3) 12 月 1 日 上海領事館主催天皇誕生日レセプション (@ 上海) でのブース出展
- (4) 12 月 2 日 中国国際旅行社 (CITS) (@ 無錫) への営業活動
- (5) 12 月 3 日 福岡県人会総会 (@ 上海) での PR



(1)(2) 武漢での活動 = JNTO、JR 九州、九州観光推進機構の協力を得て、武漢市民への PR、地元旅行社へのプレゼン、商談を行いました (当日は北九大出身武漢在住の田井琳零さんに商談サポートなど大いに助けていただきました)

(3) 天皇誕生日レセプションでの活動 = 無錫市政府外事弁公室の許主任 (左写真) はまさに「高倉」世代のご様子でした。10 月末着任の植田副所長も来賓への説明など頑張って「営業」しています！

その成果は。。。↓

2 活動の成果と気づき

(1) 目に見える成果

中国国際旅行社 (無錫) ほか、上海、杭州の 3 社の現地旅行社に「高倉健」追悼展をメインにした旅行商品 (左はその募集チラシ) を作っていただき、上海周辺の 113 店舗で販売を開始しました！

(今回の商品は高倉健展の見学はもちろん、小倉城、門司港など本市の名所をめぐり、市内で一泊していただくプランになっています)

(2) 目に見えない成果 (気づき)

今回、実際に旅行商品を作る旅行社などと多くお話をしてみて、本市の観光資源プラス、大分、宮崎などと組み合わせた提案が有効であることを改めて学びました。特に、これからの北九州空港の一層の活用を考えた時、特に大分県、宮崎県との東九州連携が重要であると考えます。その点、弊所は、旅行プランを立てる旅行社が多く立地する上海という地にあり、かつ大分県、宮崎県の各上海事務所と良好な関係を築いているので、その利点を活かして、「東九州連携」によるプランの提案の可能性を探っていきたいと思います。

また、今回の活動では、「中国で高倉健展をやればいいのにな？」などの声が聞かれるほど一定年齢層以上にはまだまだ根強い人気があることを改めて知らされました。

私自身も、文化交流の重要性と、その発信力の強さを改めて学ぶ貴重な機会になりました。この学びを今後の活動に活かし、まずは北九州市の文化を発掘し、上海を起点に情報発信を続けていきます。

